

第2回 「障害のある子の将来を考える集い（集い）」の再開

令和2年10月31日に第1回の「集い」を開催して以来、コロナ禍で中断しておりましたが、ようやくコロナ禍も収まる気配をみせております。そこで「ポスト・コロナ禍の集い」と題して、下記のとおりで、「第2回 障害のある子の将来を考える集い」を持つとともに、コロナ下での懸案事項でもあったみどり園の増築計画についても代表理事よりご説明させていただきます。

ひかり福祉会 みどり園
代表理事・施設長
林 和彦

記

ポスト・コロナ禍の集い

場所：みどり園

日時：令和5年4月22日（土） 1300～1500

報告者：代表理事 林 和彦（下記テーマ①、②とも）

テーマ：① 「第2回 障害のある子の将来を考える集い」 13:00～14:00

「発達障害とエピジェネティクスの最近の動向について」

（前回の「発達障害とエピジェネティクス」（久保田健夫先生）のご報告後のエピジェネティクスに関する動向について代表理事からの報告です。）

- ② 「令和5年度のみどり園の増築と今後の施設整備計画について」 14:00～15:00
（代表理事よりご説明させていただきます。ご要望等をお寄せください。）

以上